

事業責任者からのご挨拶

文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—」では、大変お世話になっております。以下にご紹介差し上げます様に、本年度は北海道大学の横山歯学部長、井上事業推進委員の多大なるご尽力により、黒澤修身 文部科学省高等教育局医学教育課課長補佐をお迎えして、平成 29 年度歯学教育改革コンソーシアム 連携シンポジウムを開催できますことを大変有り難く存じます。銀杏並木の絶景が参加者を包み込み、有意義な議論が盛り上がりますことを祈念しております。

さて、平成 30 年度は本事業の最終年度となります。岡山大学で総括連携シンポジウムを開催するべく準備を開始しました。今のところ、平成 31 年 1 月 26、27 日に岡山大学鹿田キャンパスの J ホールで開催予定としております。今回の北海道大学での連携シンポジウム同様、連携大学のみならず、全国の歯学部にご案内を差し上げる予定ですので、多くの先生方にご参集頂きますようお願い致します。

(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野 窪木拓男)

平成 29 年度 連携シンポジウム開催のお知らせ

平成 29 年 11 月 10 日 (金)・11 日 (土) に北海道大学歯学部講堂において連携シンポジウム in 札幌を開催致します。プログラムにありますように今回は「これからの医科歯科連携教育」及び「地域包括ケアと周術期口腔管理」をテーマとした二つのシンポジウムと、東京都健康長寿医療センターの平野浩彦先生の特別講演を予定しております。10 日 (金) は 15:30 に受付開始し、11 日 (土) 14:00 過ぎに散会予定です。なお、本連携シンポジウムにおきましても、昨年の九州大学と同様に、これまでの各連携校の取組につきまして「ポスター討論」としてご発表頂くこととしておりますので、ご準備をどうぞよろしくお願い致します。

晩秋から初冬へかけての北海道へ是非おいで頂き、大いに議論し、また懇親会では北海道料理を堪能しながら、更なる交流を深めて頂ければ幸いです。全国の歯学部から多数のご参集を心よりお待ちしております。

(北海道大学歯学部 連携シンポジウム担当 コンソーシアム委員 井上 哲)

❖平成 29 年度 連携シンポジウム プログラム 場所：北海道大学歯学部 講堂

平成 29 年 11 月 10 日 (金)

15:30 受付開始

15:50 挨拶 本事業責任者 岡山大学 窪木拓男 教授
北海道大学歯学部長 横山敦郎 教授

16:00-17:30 シンポジウム 1

これからの医科歯科連携教育

座長 横山敦郎 教授 (北海道大学歯学部長)

講演 1 (30 分) 黒澤修身 様 (文部科学省高等教育局医学教育課課長補佐)

「歯学教育の今後の方向性について」

講演 2 (40 分) 笠原正典 教授 (現北海道大学副学長、前北海道大学医学部長)

「医学教育の最近の動向と医学教育の立場から歯科医学教育に望むこと」

17:45-18:15 ポスター討論 (質疑応答)

18:20-19:40 懇親会 エンレイスウ

平成 29 年 11 月 11 日 (土)

9:30-11:30 シンポジウム 2

地域包括ケアと周術期口腔管理

座長 井上 哲 教授 (北海道大学大学院歯学研究院臨床教育部)

講演 3 (15 分) 山崎 裕 教授 (北海道大学高齢者歯科)
「北大研修プログラム紹介—がん治療の周術期における口腔管理研修」

講演 4 (30 分) 秦 浩信 先生 (北海道がんセンター—歯科口腔外科)
「がん治療の周術期口腔管理の実際」

講演 5 (30 分) 小谷 勝 先生 (北海道歯科医師会 常務理事)
「北海道歯科医師会が実施している全国がん診療医科歯科連携推進事業の現況と課題について」

講演 6 (30 分) 宮田靖志 教授 (愛知医科大学地域医療教育学)
「地域医療と多職種連携教育 ～歯科医科連携を考える～」

12:00-12:45 コンソーシアム委員会

13:00-14:00 特別講演

座長 窪木拓男 教授 (岡山大学)

平野浩彦 先生 (東京都健康長寿医療センター)
「オーラルフレイルとは：老年学の立場から」

14:00 次回シンポジウム開催担当者からの連絡事項

14:05 閉会の挨拶 井上 哲 教授 (北海道大学大学院歯学研究院臨床教育部)

第5回歯学教育改革コンソーシアム事業推進委員会開催のお知らせ

北海道大学にて開催されます連携シンポジウムの際に、「第5回歯学教育改革コンソーシアム事業推進委員会」を開催致します。各連携大学の事業推進委員会委員及び、実習コーディネーター、教育カリキュラム開発・編成担当の役職にご就任頂いている先生方、協力施設の先生方のご出席をお願い致します。

日時	平成29年11月11日(土) 12:00～12:45
会場	北海道大学歯学部C棟2階カンファレンスルーム (〒060-8586 札幌市北区北13条西7丁目)

平成29年度 実習受け入れ、相互交流状況

ニュースレター前号にてご案内差し上げました、各連携大学が開講する特色ある医療支援歯学教育プログラムへの連携大学からの実習受け入れ、相互交流状況についてお知らせ致します。

「長崎大学 離島歯科保健医療サマースクール」へは、第1クールに昭和大学5年女子学生1名、長崎大学5年女子学生2名、第2クールに岡山大学3年女子学生2名、長崎大学4年女子学生1名、「鹿児島歯学 夏季全国歯学生離島実習プログラム」へは、与論島コースに大阪大学4年男子学生1名、岡山大学3年女子学生1名、種子島コースに岡山大学4年女子学生1名、昭和大学3年女子学生1名、「岡山大学 高度医療支援・周術期口腔機能管理実習」へは、8月21日からの実習に日本大学5年男子学生、女子学生を1名ずつ、9月4日からの実習に長崎大学5年女子学生2名の受け入れを行いました。

実習報告は、次号のニュースレターにてさせて頂く予定です。来年度以降も連携大学間の相互交流の推進をお願い致します。

第36回日本歯科医学教育学会学術大会発表報告

7月28、29日に松本市で開催されました日本歯科医学教育学会にて、「課題解決型高度医療人材養成プログラム」での取組等について、岡山大学教員が発表を行いました。園井教裕助教は「急性期医療の現場でチーム医療を体験させる多職種連携教育の教育効果」、前田あずさ助教は「岡山大学病院のチーム医療現場を利用した緩和ケア教育の取り組み」、武田宏明助教は「岡山大学病院歯科医師臨床研修における在宅歯科医療研修の導入について」、川瀬明子助教は「歯学教育認証評価検討WGによる歯学教育認証評価トライアルを受審して」、杉本恭子助教は「在宅・訪問歯科診療実習での処置内容とアンケート結果を反映したシミュレーション教育の取組について」、縄稚久美子助教は「要介護高齢者の栄養管理を支えるミールラウンドを模した多職種連携ワークショップの試み」といった内容についてそれぞれ発表を行いました。どの発表でも活発な質疑応答があり、本事業での取組をアピールし、今後の課題を検討する大変良い機会となりました。また、窪木事業責任者は、シンポジウム「地域包括ケアの多職種協働の中で、今まさに『歯科医師』が果たすべき役割は？」にて、「ミールラウンドを模した多職種連携ワークショップを経験して」と題して講演され、講演後のディスカッションでは、地域包括ケアに関わる職種それぞれの立場から活発なディスカッションが行われました。

(岡山大学医療教育統合開発センター 歯科医学教育改革部門 杉本恭子)

